

みつみねやき

みつみね焼きって何？

みつみね焼きは清川村で作られています。みつみね焼きに使う粘土は、清川村にある材料を使って出来ています。ここでは、みつみね焼きの紹介をします。



私も作ってみたいです

形、色、など一人一人違い
面白いですね！



最後に

道の駅にあるみつみね焼き



みつみね焼きを作っている岩澤さんは、清川村の自然の良さを表現したいと思いで作っているといっていました。
右の写真は、みつみね焼きで作ったコップやお皿です。
ぜひ皆さんもみつみねやきを使ってみませんか。

釉薬の説明

みつみね焼きは、コップ、お皿などいろいろな種類の物ができます
釉薬の種類

セラドナイド

谷太郎川の石をくだいて水でとかして釉薬を作ります。それをめると薄い水色のような色になります。



灰

清川村の材料を燃やして、できた灰を溶かして釉薬を作ります。
清川村の森林を思い出させる緑色になります。



お茶

清川村のお茶の出がらしで釉薬を作ります。お茶のような色になります。



使う釉薬が違くと出来上がりの色も違います。